



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るくあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

# いわき市 社会福祉協議会だより

第105号  
平成25年1月18日発行  
編集・発行  
社会福祉法人  
いわき市社会福祉協議会  
広報委員会  
いわき市平字菱川町1番地の3  
(いわき市社会福祉センター内)  
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031  
ホームページ [www.iwaki-shakyo.com](http://www.iwaki-shakyo.com)  
メールアドレス [master@iwaki-shakyo.com](mailto:master@iwaki-shakyo.com)



門松づくりをとおしての世代間交流：川前

## 目次

年頭のごあいさつ／	
地域福祉推進支援事業を開始！	2
住民福祉懇談会を開催しました！	3
地域は地域で支え合う 小地域福祉活動	4
くらしのあんしんをおてつだい	
あんしんサポート（日常生活自立支援事業）	5
ボランティア活動センター通信	6
社協通信	7
地区協議会だより	8



社協のイメージキャラクター「ふくみちゃん」

# 年頭のごあいさつ



社会福祉法人  
いわき市社会福祉協議会

会長 強口 暢子

市民の皆様には、新しい年を心穏やかに迎えにいられたことと思います。

また、日頃、本会の福祉活動に對しまして、御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、未曾有の大震災から早いもので2年が経過しようとしています。本会では、昨年10月から、市内13地区で住民福祉懇談会を開催し、福祉ニーズの発掘を目指すとともに、昨年12月には新たに地域福祉支援員を配置し、地域福祉の推進を強化していきます。また、平成25年度においては、住民福祉懇談会で出された地域の皆様の「声」をもとに、地域住民の皆様と協働で地区版地域福祉活動計画を策定いたします。

本会は「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができる地域社会」を目指し、地域における強固な福祉コミュニティの構築に、より一層努めるとともに、一人でも多くの方が笑顔で生活できるよう、皆様の御協力を賜りながら本年も様々な地域福祉活動を展開して参る所存です。

市民の皆様のみならずの御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます、新年の御挨拶といたします。



## 住民主体の地域づくりを目指して 地域福祉推進支援事業を開始！

近年、少子・高齢化や東日本大震災の影響による地域コミュニティの弱体化に伴い、引きこもりや孤独死などの社会的な問題が表面化しています。

このため、本会では、地域住民が主体となり地域の組織を中心とした地域住民支え合いの仕組みづくりを支援するための地域福祉支援員7名を配置するとともに専門的な見地で相談・助言をいただく地域福祉コーディネーター5名を委嘱することとなりました。

今後、地域の区長、行政嘱託員、民生児童委員をはじめ関係機関・団体と協働・連携しながら「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができる地域社会」の実現に向けて取り組んでまいります。



私たちが、地域福祉支援員です

### 地域福祉支援員の活動内容

#### ①地域状況の把握

地域の定期的な巡回、地域資源（住民、行政区、民生児童委員協議会等の地域組織、保健・医療・福祉、学校等）及び生活状況（買い物・近所付き合い等）の把握を行います。

#### ②住民支え合いの活動の支援

●地域状況の把握や住民懇談会を踏まえ、地域住民が主体となって取り組める住民支え合い活動の仕組みづくりを支援します。

●地域における住民支え合い活動が継承されていくよう、人材育成や活動のきっかけづくりを支援します。

●地元企業や各種団体に対し、住民支え合い活動への参加を啓発・支援します。

# 住民福祉懇談会を開催しました！

市内13の地区協議会で実施している事業の点検評価と平成25年度に策定を予定している地区版地域福祉活動計画へ皆さまの「声」を反映していくため地域の福祉関係者を中心に「住民福祉懇談会」を開催しました。

ワークショップ（※）形式で実施した懇談会では、昨年の震災以降、ますます多様化している地域の福祉課題やニーズについて、参加者同士が共通認識を図るとともに、今後、地域の方々が「安全で安心して暮らし続けることができる地域社会」の実現に向けた取り組み等について議論を深めました。  
※地域の多様な立場の人々が参加し、今後の方向性を考える手法

## ●住民福祉懇談会とは？

各地区協議会が実施している事業の点検及び評価をするなかで、「社協ができること」「地域ができること」を整理します。  
ワークショップのなかでは、地域の福祉課題を発掘し、今後の事業展開につなげます。



### 1. ワークショップでは、こんな『声』が…

- ・集会所がないので、地域の人が集まることができない！
- ・本協議会の事業や地域のイベントへの男性参加率が低い！
- ・担い手・リーダーがない！後継者が見つからない！

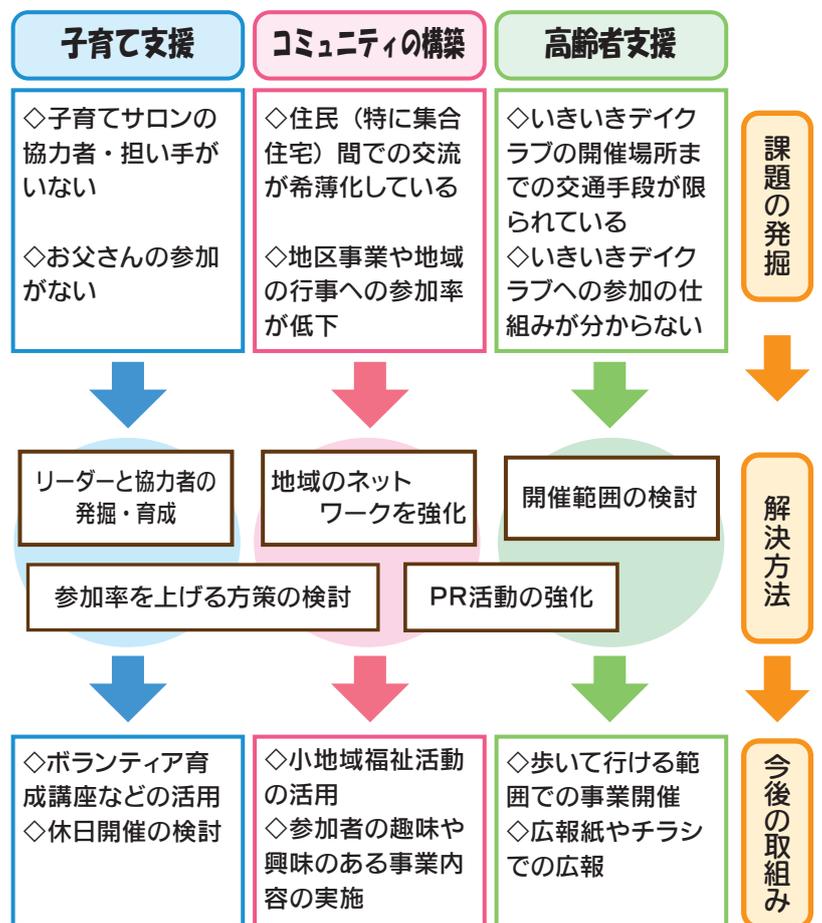
### 2. 住民の声を事業につなげる…

本会では、住民の声を事業につなげるため、「社協ができること」「地域ができること」を整理します。

「社協ができること」では、既存の事業（小地域福祉活動〔P4 参照〕、ボランティアの育成等）の活用や新規事業の開発を行います。

「地域ができること」では、機関・団体と連携し、住民主体で地域の福祉課題に対応していきます。

## ワークショップの流れ



自分の班のまとめを発表する参加者（左：遠野地区、右：小名浜地区）

お問い合わせは、地域福祉課 23-3320代まで

# 地域は地域で支え合う 小地域福祉活動

## 小地域福祉活動とは？

地域の身近な福祉課題を共通テーマとして住民組織が解決に向けて協働しながら進める活動で、この活動の基盤となる福祉コミュニティづくりと住民相互が支え合う自主的な活動が小地域福祉活動です。

本事業では、地域の既存の団体や組織を基盤とし、地域の福祉課題に沿った活動計画や援助計画に基づいて、地域福祉活動を進めます。

また、「小地域福祉活動指定行政区連絡会」を毎年開催し、指定地区間の交流や情報の交換を図るとともに、さらなる効果的な事業の取り組みができるよう努めています。

### 【主な活動内容】

- ◆交通事故防止運動 ◆介護者リフレッシュの集いの開催 ◆防犯・防火運動
- ◆草刈りや清掃活動 ◆盆踊りなどの地域事業への参加促進活動
- ◆励ましや話し相手などの友愛訪問活動 ◆児童健全育成のための子ども会活動
- ◆文化・スポーツ活動 ◆介護講習会の開催 ◆障がい者との交流



平成23年度小地域福祉活動指定行政区連絡会

地区名	自治会・行政区名	指定年度	地区名	自治会・行政区名	指定年度
平	平第36区	24年度～26年度	小川	桐ヶ岡行政区	24年度～26年度
	中央台第一団地区	24年度～26年度		塩田区	24年度～26年度
小名浜	小名浜西5区連絡協議会	24年度～26年度	好間	菊竹区	22年度～24年度
	玉川町東2区	24年度～26年度		上野原・空山行政区	22年度～24年度
勿来	山田地区	22年度～24年度	三和	下三坂区	23年度～25年度
	錦町大倉区自治会	24年度～26年度		下市萱区	23年度～25年度
常磐	常磐三沢町	22年度～24年度	田人	平成16年度で全行政区指定	
	若葉台2区	24年度～26年度	川前	川前町第3区	23年度～25年度
内郷	高野町区会	22年度～24年度		川前町第8区	23年度～25年度
四倉	四倉町第11区、第15区	22年度～24年度	久之浜・大久	震災の影響で24年度は指定なし	
遠野	下根本行政区	23年度～25年度	合計	19行政区（自治会）	

## 活動紹介

### 小名浜西5区連絡協議会（小名浜）

会長 広岡 脩

当連絡協議会は、小名浜の最も西に位置する五つの行政区が地区活動を協業する約600世帯が住む地域でもあります。大変歴史のある地域ですが、24年度より私どもの活動を「小地域福祉活動」の一環と位置づけ活動を展開しております。

防災会を立上げ、地域の高齢世帯の孤立を防ぐ活動などもこれからも継続してまいります。

近くの吹松公園管理も知事賞を受賞するなど生きがいづくりを併せた活動を推進しています。



### 下三坂区（三和）

区長 白石 良一

下三坂行政区が小地域福祉活動の指定を受けて2年目となり、地元民生委員2名を中心として年間9回「いきいきサロン」を開催し活動しております。

この活動は、健康体操ゲーム・シルバーリハビリ体操などを組み合わせており、住民はこの活動に参加することで交流が深まり、楽しみが増え、元気に生活できております。

この活動は生きがいづくりに貢献できると感じています。



くらしのあんしんを  
おてつだい

# あんしんサポート

(日常生活自立支援事業)

## ●あんしんサポート（日常生活自立支援事業）とは？

判断能力が十分でなくなってきた方（例えば、認知症高齢者、知的・精神障がい者など）が、地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などの援助を行う事業です。

※あんしんサポートは、福島県独自の名称です。



### <利用対象者>

認知症高齢者、知的・精神障がい者など判断能力が不十分な方

※認知症の診断の有無、障がい者手帳の有無は問いません。

※施設や病院に入所、入院している方でも利用できます。

### <主なサービス>

#### 福祉サービスの利用援助

- 福祉サービスに関する情報提供をします。
- 福祉サービスを利用または利用をやめるために必要な手続きをします。
- 福祉サービスの利用料を支払う手続きをします。
- 福祉サービスの苦情解決制度を利用する手続きを援助します。

#### できないこと

施設等の入所契約、治療・入院に関する契約、介護、看護、買い物、掃除 等

#### 日常的金銭管理サービス

- 銀行などに行って、日常生活に必要なお金の出入れを支援します。
- 医療費や公共料金、家賃などの支払い、口座引き落としの手続きをします。

#### できないこと

不動産や預貯金の資産運用 等

#### 書類などの預かりサービス

- 預金通帳や印鑑など大切な書類をお預かりし、貸金庫など安全な場所で保管します。
- ※例：年金証書、保険証書、その他社会福祉協議会が適当と認めた書類など

#### お預かりできない物

貴金属、骨董品、有価証券、書画、宝石、現金 等

### <サービスの流れ>

**相談の受付** 社会福祉協議会へご相談ください。



**訪問関係機関との調整** 社会福祉協議会の職員が訪問し、困りごとなどを伺います。また、その他の福祉サービス事業所、金融機関、関係者等との調整をします。



**支援計画の作成** ご本人と社会福祉協議会と一緒に考えて、具体的なサービスの計画を作ります。



**契約** 支援計画の内容に基づき、ご本人と社会福祉協議会との間で利用計画を結びます。



**サービス開始** 生活支援員が支援計画に沿ってご本人を訪問し、サービスを行います。



**定期的な支援計画の見直し** 定期的に支援計画の内容を見直し、変更が必要な場合はご本人と相談して支援計画を変更します。



**終了** ご本人から申し出があったとき、ご本人が亡くなったとき。判断能力の低下や生活状況の変化により、契約の継続が困難になったとき。

- 相談から契約までは無料です。
- 契約後、サービスが開始してからは1回1時間あたり1,000円の利用料がかかります。（1時間を超えると30分ごとに350円が加算されます）  
※この他、生活支援員の交通費がかかります。
- 生活保護を受けている方は無料です。

あんしんサポートに関する問い合わせは、地域福祉課 ☎23-3320(代)まで

# ボランティア活動センター通信

## 災害支援ボランティア養成講座

平成24年10月23日(火)・30日(火)の2回にわたり、災害支援ボランティアに興味のある方を対象に開催しました。

第1回目は市社会福祉センターで行われ、市放射線量低減アドバイザー星蔦雄氏と本会職員を講師に「原子力災害対策について」「災害ボランティアセンターの役割と機能」についての講義や、非常食の調理、試食体験を行いました。

また、第2回目は平消防署で行われ、同署救急係職員を講師に「普通救命講習」を受講し、要援護者への対応について学びました。

今回の受講者は主婦層が多く、食に関する放射能状況や、非常食の作り方などは大変関心が高く、真剣に受講され、質問も飛び交う白熱した時間となりました。



放射線の健康への影響といわきの現状をお話する市原子力対策課の放射線量低減アドバイザー星蔦雄氏

## 福祉レクリエーション ボランティア入門講座

平成24年11月7日(水)から全5回コースで、地域活動に関心のある方を対象に開催しました。

受講生は、講師の福祉レクリエーションワーカーの七海多美子氏から福祉領域におけるレクリエーションの考え方や対象者に合わせた活動など、さまざまなカリキュラムを学びました。

第3・4回目には、身近なりサイクル資源(牛乳パック等)を活用したクラフト作りを行い、介護予防にも子育て中の親子のふれあいにも簡単に応用できるレクリエーションを学び、その必要性と楽しさを実際に感じることができました。



クラフト作り楽しく取り組む受講生の皆さん

## いわき市ボランティア活動センター (いわき市復興支援ボランティアセンター)

**募集!**

～掲示板～

### ボランティア登録してみませんか?

現在、ボランティア活動センターでは、随時ボランティアの募集を行っております。

ボランティアの依頼があった際に登録していただいた方へ情報の提供・ボランティアの依頼を行います。

個人・団体間いません。地域に貢献したいと考えている方、ぜひ登録をお待ちしています。登録は無料です。

### こんなメリットがあります!

- ★ボランティア情報を受け取れる!
- ★ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険への加入が可能に。
- ★ボランティアの助成金情報が受け取れる!
- ★ボランティア同士のつながりがもてる など。

### ブログも更新中

<http://iwakisaigaivc.blog.fc2.com/>



## 受講者募集!

### 傾聴ボランティア入門講座

ボランティアの第一歩とも言える、相手の話を「きく」技法を学び、地域で悩みや寂しさを抱える方々の話し相手になるボランティアの養成を行います。

皆さん、気軽に参加してみませんか!

日時: 2月16日(土)・3月2日(土)

両日ともに10時から

場所: いわき市社会福祉センター 5階大会議室

対象: 全日程受講できる方

定員: 50名(定員になり次第締め切ります)

参加費: 無料

講師:

柳澤 孝主氏 (いわき明星大学現代社会学科教授)  
菅野 昌史氏 (いわき明星大学現代社会学科准教授)  
窪田 文子氏 (いわき明星大学心理学科教授)  
鎌田真理子氏 (いわき明星大学現代社会学科教授)

〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3

TEL: 38-6631 FAX: 38-6632

Eメール: saigai-vc@iwaki-shakyo.com

申込締切: 2月8日(金)

第38回

# いわき市総合社会福祉大会を開催！

社協通信



代表受賞者より渡辺市長・強口会長へ謝辞

福祉施設・団体・ボランティアなど福祉関係者及び市民の方々が一堂に会して、いわき市の福祉を総合的に高めていく「いわき市総合社会福祉大会」（主催＝いわき市・いわき市社会福祉協議会）を、平成24年10月10日（水）いわき芸術文化交流館アリオスで開催しました。大会の席上、本市の福祉向上発展に多大な活躍をされた方々に表彰を行いました。

- 【市長感謝】 98名
- 【大会会長表彰】 121名      1団体
- 【大会会長感謝】 8名      3団体

また、本大会において次の大会宣言が採択されました。

- 1 誰もが住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を送れるよう、小地域での福祉活動を拡充し、地域は地域で支え合うまちづくりを進めましょう。
- 1 すべての児童が、よりよい環境のもとで健やかに育成されるよう、地域ぐるみで子育てを支援しましょう。
- 1 高齢者やひとり親家庭などが孤立することなく、安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の連携による地域福祉活動を強化しましょう。
- 1 障がい者保健福祉施策を、より充実させることともに、すべての障がい者が、社会の一員として正しく理解され、共に暮らせる地域づくりを進めましょう。
- 1 介護保険施設・福祉施設と地域住民との交流を深め、在宅福祉活動の拠点としても活用されるよう、地域ぐるみで支え合ひましょう。
- 1 市民の社会福祉に対する理解と関心を高め、ボランティア活動への積極的な参加を進めましょう。
- 1 共同募金が、社会福祉の増進に果たす役割と使命を理解し、募金活動をさらに進めましょう。
- 1 東日本大震災によって被災された方々が生活再建できるよう、地域住民が協働し、被災者支援に取り組みましょう。



記念講演：されど、人生これから  
講師：吉川 精一 氏（歌手・元アナウンサー）

## 第66回福島県社会福祉大会が二本松市で開催されました！

県内の社会福祉関係者が一堂に会し、「第66回福島県社会福祉大会」が平成24年11月2日（金）二本松市民会館で開催されました。

式典では、県内の福祉向上に多大な貢献をされた方々の表彰が行われ、本市からは121名が表彰されました。



式典の様子



大会に参加した本会役員の皆さん

- 【知事感謝】 103名
- 【大会会長表彰】 16名
- 【大会会長感謝】 2名

## 平成25年度採用職員募集

- 募集人員 若干名（介護職）  
 資格要件 次の(1)(2)(4)(5)又は(1)(3)(4)(5)のいずれかに該当する者  
 (1)介護支援専門員資格を有する者（有効期間が1年以上）  
 (2)介護福祉士資格を有する者  
 (3)看護師又は准看護師免許を有する者  
 (4)普通自動車運転免許を有する者  
 (5)60歳未満の者（定年60歳のため）  
 受付期間 平成25年2月1日（金）から平成25年2月15日（金）まで  
 試験日及び試験 平成25年2月24日（日）  
 筆記試験（一般教養・小論文）と面接試験  
 応募先 いわき市社会福祉協議会  
 ホームヘルプセンター（☎35-2822）

# 地区協議会だより

いわき市社会福祉協議会は、市内13地区（平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久）に地区協議会を設置し、『誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができる地域社会』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

## ◆勿来地区協議会（地域ふれあい交流事業）



「顔の見えるあったかい地域」をめざして南台にお住まいの双葉町の皆さんと南台地区の住民の皆さんが、遠野の八潮見城跡をハイキングで交流し、新たな

地域コミュニケーションづくりを実施しました。双葉町の皆さんは、閉じこもりがちな生活の中で、体を動かし、楽しい時間を過ごせたとの声が寄せられました。

◇詳しくは、勿来地区協議会 ☎63-2111代まで

## ◆内郷地区協議会（防火deふれあう事業）



下綴女性消防クラブと共催で、「自分たちの命は自分たちで守る」の精神を基に、地区の子ども会や消防団など53名が協力し、下綴地区のひとり暮らし

高齢者と高齢者世帯122世帯へ友愛訪問活動を実施しました。今年は、みんなで作成した「避難確認プレート」を配布し、火災予防も呼びかけました。

◇詳しくは、内郷地区協議会 ☎27-8707まで

## ◆好間地区協議会（子育てサロン）



子育て中のお母さんが気軽にふれあい、リフレッシュすることを目的に、主任児童委員・民生委員・好間地域赤十字奉仕団・地域ボランティアの方々の

協力で、3歳くらいまでの未就園児を育児している方を対象に、毎月第2金曜日・第3水曜日に好間公民館で開催しております。今回はお母さんと一緒におにぎり作りをして、楽しく試食しました。

◇詳しくは、好間地区協議会 ☎36-2221代まで

## ◆三和地区協議会（あすなろ年輪ピクススポーツ大会）



高齢者の健康増進を目的に、三和ふれあい館屋内ゲートボール場において、三和地区小学校4・5・6年生20名、三和地区老人クラブ会員100名が、5チームを

つくりケツ圧測定や交通安全リレー等の競技に参加し、各チームが世代間を越えてひとつになり、優勝をめざして楽しい一日を過ごしました。

◇詳しくは、三和地区協議会 ☎86-2111代まで

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金住民支え合い活動助成事業」の応募受付が終了します！**

東日本大震災及び福島第一原発事故以降の住民相互の支え合い、助け合い活動の更なる推進をめざした本事業の応募受付終了日が平成25年2月15日（金）となっております。応募される方は、お早めに！

**詳しくは 福島県共同募金会 ☎024-522-0822 いわき市共同募金委員会 ☎23-3320代まで！**



**編集後記**  
正月に行われる風物詩のひとつ「七福神めぐり」。七福神とは、様々な国で古くから信仰されていた7体の神様が集められたものです。多様な文化の良い所を受け入れ、独自の文化として作りあげる。これが日本の良い所だと感じます。多くの原発避難者を受け入れている本市ですが、社協という立場から土着の文化と避難されてきた方々の多様性を受け止め、今後更なる発展に繋げていけるよう今年も全力で努力して参ります。  
広報委員一同

**皆さまの声をお待ちしております！**  
いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしております。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。  
住所：いわき市平字菱川町1番地の3（いわき市社会福祉センター内）  
**ホームページ ▶ [www.iwaki-shakyo.com](http://www.iwaki-shakyo.com)**  
**メールアドレス ▶ [master@iwaki-shakyo.com](mailto:master@iwaki-shakyo.com)**



いわき市社協ホームページ

「いわき市社協だより」の作成経費として、皆さまからの寄付金・会員会費及び共同募金配分金を使用させていただいております。

